

第1次の取り組みの際の磯辺地区の課題

	磯辺地区から提出された課題	「千葉県学校適正配置実施方針」に明記した対応 対応する部分を抜粋
1 長期的視野に立った統合	磯辺第二小と第四小との限定された統合ではなく、将来を見据えた小規模校解消が必要	Aパターン地域（複数の小規模校が集中する地域）においては、地域の枠組みを設定し、統合により適正配置を検討する。その際、必要に応じて通学区域の調整を行う。
	中学校を含めた磯辺地区全体の校区の見直しが必要	
2 統合の協議の進め方	総合案策定には候補校区住民代表の意見を取り入れること	適正配置に向けて、対象校の保護者や地域住民等に対する説明会を開催するとともに、「地元代表協議会」を設置し、地元の意見や要望を十分踏まえて進めるようにする。
3 統合の方法	統合合意後は統合時期を予告の上、一気に統合	学校適正配置についての合意形成を図るとともに、統合の実施計画についての検討を行うため、「地元代表協議会」を設置し、統合等に向け協議する。
		統合による新設校への円滑な移行に向けて、「統合準備会」を設置し検討事項（統合スケジュール、交流事業、跡地利用等）についての協議を行う。